

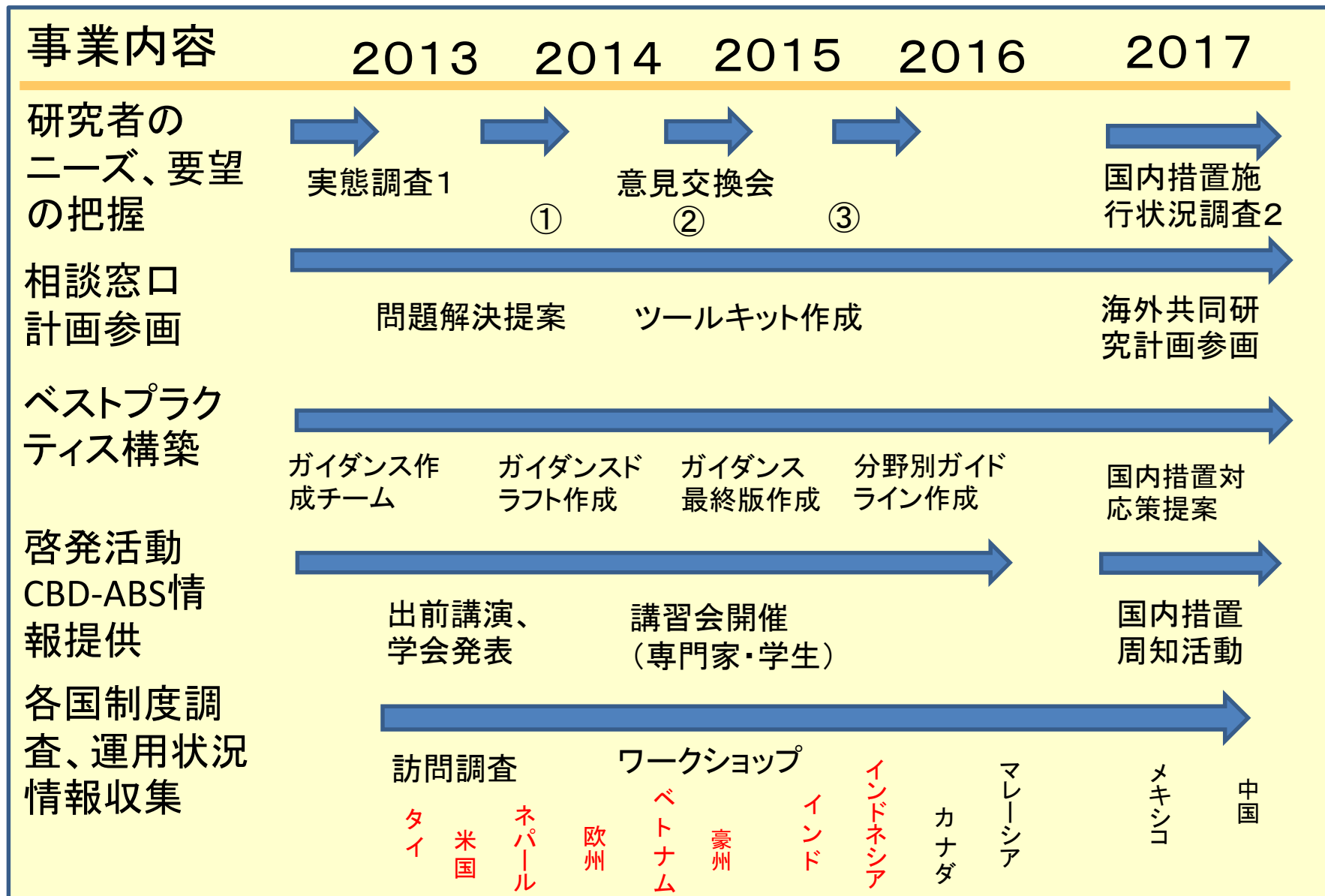
# 学術研究と生物多様性条約

生物資源の安定調達と国際ルールの遵守に  
関するシンポジウム

2015年6月30日

ABS学術対策チーム  
森岡 一

# ABS学術対策チームの活動



# 日本の学術機関のためのツールキット

- ツールキット1: ABS学術タスクフォースチームの設立と活動(紹介パンフレット作成)
- ツールキット2: 学術研究のためのガイダンス(方針)
- ツールキット3: 専門家育成のための教則本
- ツールキット4: 提供国制度のクイックリファレンスチャート(作成中)
- ツールキット5: 質問と回答集
- ツールキット6: PIC、MAT等見本集
- ツールキット7: 分野別行動規範、ガイドライン(作成中)

# ツールキット2 : 学術研究のためのガイダンス (遺伝資源利用原則の確立)

- 目的

- 研究機関と研究者の社会的責任の周知徹底
  - 生物多様性条約遵守宣言、原則の確立
- 研究支援、産学連携などの機関内サポート部門の重要性とチームワークの重要性
- 研究機関のリスク管理の必要性

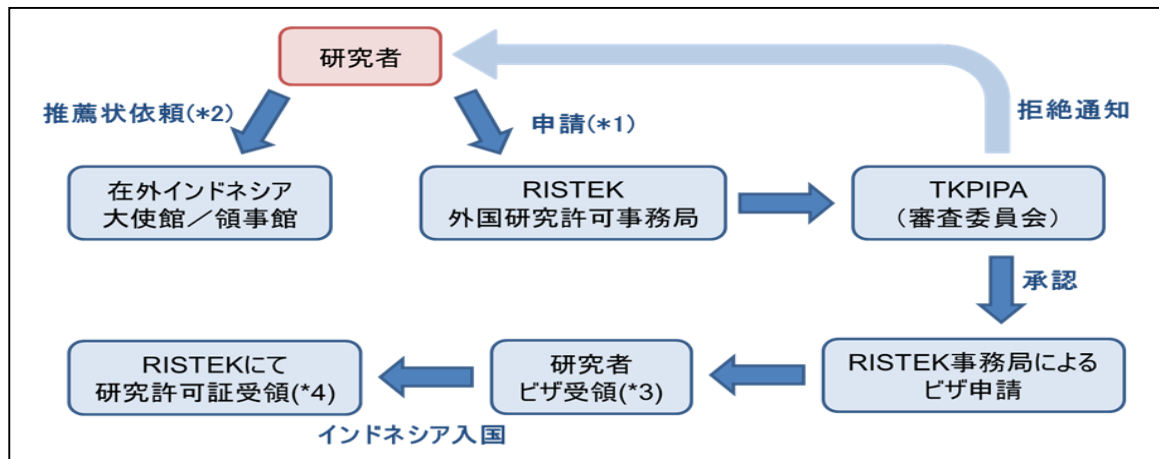
- 内容

- 研究機関、研究グループ、研究者、研究支援者、コレクションセンターのためのガイダンス
- 名古屋議定書国内措置対応は含まれない

# ツールキット4: 提供国アクセス制度のク イックリファレンスチャート

- フォーカルポイント(公式情報窓口)と権威ある当局(PIC付与機関)情報
- アクセスと利益配分に関する情報(学術関係のみ)
  - 法律、規則、ガイドライン等情報
  - 法律等の日本語翻訳テキスト
  - 「アクセスと利益配分」解説付き
- PICとMAT取得方法
  - PIC取得方法、MAT契約方法、研究許可取得方法フローチャート
  - 可能なら申請フォームのコピー
- PICとMAT取得のヒント

インドネシア研究許可



Sri Wahyono

# ツールキット5: 質問と回答集

- アクセスについて
  - 海外留学生・研修生のサンプル
  - 海外の市場で入手したサンプル
  - 仲介業者から入手したサンプル
  - 条約発効以前に入手したサンプル
  - 海洋生物の取り扱い、特に公海及び深海底にある海洋遺伝資源
  - 派生物とは
  - 国内遺伝資源の海外第三者移転
- 利用について
  - 利用形態の提供国理解を深めるための施策
  - 研究計画の変更
  - 利用後、取得した遺伝資源で生息域外のバイオリソースセンターを作りたい
- 利益配分について
  - 研究機関の研究の金銭的利益配分とは
  - 遺伝資源特許出願時の取り扱い
  - 知的財産担当者が注意すべき特許出願対応
  - 出所保証

# ツールキット6: PIC、MAT、MTA見本集

- 提供国との契約において最も重要な課題
  - ① 主権的権利
    - 遺伝資源には提供国の主権的権利が及ぶ
  - ② 利益配分、特に金銭的利益配分
    - 非金銭的利益と金銭的利益の明確な約束
  - ③ 報告義務
    - 第三者移転、第三者利用成果
- 保存遺伝資源の第三者移転契約において最も重要な課題
  - 提供国権利の第三者への継承
- 研究計画に応じた適切な契約
  - MOU、MTA、共同研究契約

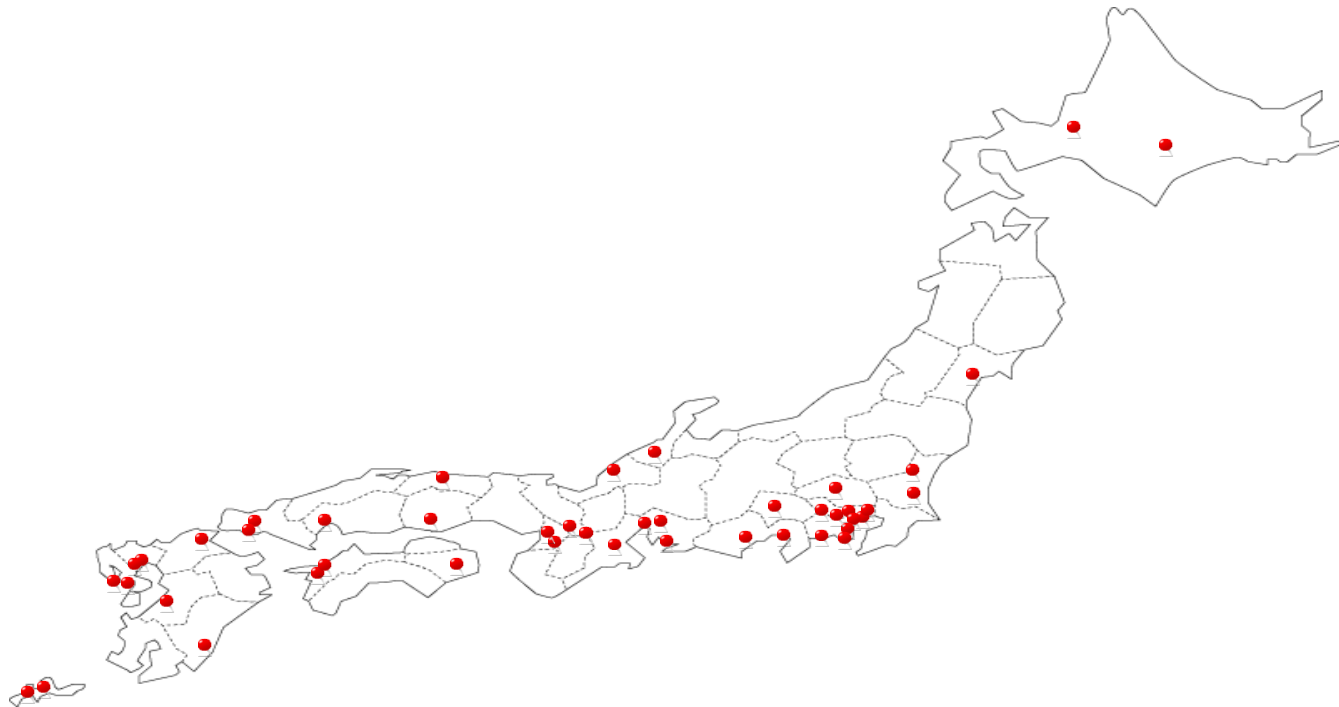
# ツールキット7: 分野別行動規範、ガイドライン

- 分野別行動規範、ガイドライン
  - 分類学研究分野(ワークショップ済・作成中)
  - 海洋研究分野(ワークショップ予定)
  - 伝統医学/天然物研究分野
  - 農業研究分野
  - 微生物研究分野
  - その他
- 関連国際学会との協調性
- 名古屋議定書国内措置との協調性



# 無料出張セミナー

- 目的: 研究者の普及・啓発、個別面談による意見収集
- 開催場所
  - アクセスと利益配分: 34機関
  - アクセスと利益配分+カルタヘナ法関連合同: 4機関
  - 学会、研究会等: 7集会



ツールキット3-A

# 生物資源と法規

生物多様性条約と名古屋議定書を  
実践する専門家のための教則本



国立遺伝学研究所  
ABS学術対策チーム

# ABS講習会（毎月開催）

1日目講義： <b>基礎編</b> と質疑応答 午前10時開講		
	生物多様性条約と他の関連する国際条約	2時間
	提供国の国内法、名古屋議定書と国内措置	2時間
	生物多様性条約と知的財産制度 伝統的知識問題を中心に	2時間
2日目講義： <b>応用編</b> と質疑応答 午前10時開講		
	遺伝資源へのアクセスと利益配分の実践Ⅰ 合法的な学術研究のためのアクセスと利益配分の実務	2時間
	遺伝資源へのアクセスと利益配分の実践Ⅱ	2時間
	遺伝資源利用研究を行う研究機関のためのガイダンス	1時間
<b>終了試験</b>		1時間

ご清聴ありがとうございました

ご意見のある方は下記まで

[hmorioka@nig.ac.jp](mailto:hmorioka@nig.ac.jp)

[jimmorioka@gmail.com](mailto:jimmorioka@gmail.com)